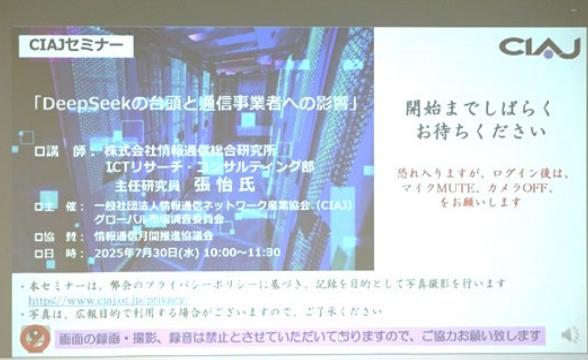


## 様式07 実施報告書

情報通信月間参加行事 実施報告書				
行事ID	主催団体	行事形式(※)	行事名	
C072	一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会	④	中国アジア地域における最新の通信市場動向 「DeepSeekの台頭と通信事業者への影響」	
開催日	開催場所	行事 参加人数	Webサイト・URL	
7月30日	オンライン開催	実地: 3 オンライン: 86	<a href="https://ischannel.ciaj.or.jp/seminars/168">https://ischannel.ciaj.or.jp/seminars/168</a>	
行事実施概要・アピール等				
<p><b>【概要】</b>  <b>CIAJグローバル市場調査委員会 中国アジアWG</b>では、会員企業の中国・アジア情報通信市場への参入やビジネス展開を目的として、産学官の有識者を招いて調査研究を実施し、対面での質疑応答や議論が可能な数少ない場を提供。          今回、6月10日実施済の米国AI関連セミナーに続き、DeepSeekをはじめする中国の生成AIの普及状況について、本年度第1回WG開催分をCIAJセミナーとして会員限定で公開し、概ね好評を得た。          ※参加形式:セミナー聴講者はオンライン参加。講師・委員会メンバー・CIAJ事務局のみ会議室参加。</p> <p><b>1. 産業界におけるDeepSeekの利活用事例</b>          • DeepSeekは革新的な技術アプローチで実現した低コスト・高性能なモデルを強みに、AI市場での存在感を急速に高めており、中国では金融や行政、自動車などの幅広い産業で導入進行中。</p> <p><b>2. 通信事業者のネットワーク関連のAI活用の取り組み</b>          • 通信大手3社（中国移動・中国聯通・中国電信）は、ネットワーク運用保守にAIを活用すると同時に、産業向けAIソリューション等のAI事業を拡大中。ネットワーク運用保守については、DeepSeek等の汎用型LLMは通信分野の専門知識が不足しており、通信事業者は自社開発のネットワーク大規模モデルを中心に採用開始。一方で、自社クラウド製品へのDeepSeek統合によりサービスラインナップ強化が奏功。</p> <p><b>3. 通信事業者のAI事業およびDeepSeekの採用</b>          • 通信事業者とDeepSeekの協業は、双方にとって戦略的な意義を持つ。DeepSeekにとっては、通信事業者の巨大な顧客基盤と事業領域の活用により、自社モデルの活用領域とユーザー数の更なる拡大が見込め、通信事業者が保有する強力な演算リソースはDeepSeekのモデルの訓練や推論をサポートし、効率性と性能が向上。さらに、DeepSeekは大量の利活用データとユーザーのフィードバック獲得が可能となり、モデルの進化に有益。          • 通信事業者にとっては、DeepSeekのAI分野における技術的蓄積は通信事業者のAI能力の不足を補完し、クラウド製品の革新や差別化による競争力向上が可能。今後も両者の連携が深まり、より多くの産業向けソリューションが創出されることが期待。また、DeepSeek普及により生成AIの利用拡大が加速する中、通信事業者は増大するデータ量に対応できるネットワークの増強やDC建設等のAIインフラの整備が求められており、現在進行中。</p>				



「DeepSeekの台頭と通信事業者への影響」  
 口 講 師：株式会社情報通信総合研究所  
 ICTリサーチ・コンサルティング部  
 主任研究員 張 怡 氏  
 口 催：一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)  
 グローバル市場調査委員会  
 口 告：情報通信月間推進協議会  
 日 時：2025年7月30日(水) 10:00～11:30



